



2014年11月

PTC、CeMAT、HEAVY MACHINERY、Industrial Supply ASIA 2014 結果報告

- 世界の大手企業が「スマートマニュファクチャリング」を紹介
- 4日間の会期中、質の高いビジターとバイヤーが多数来場
- 主催者の高いプロ意識とサービスにより、出展社の満足を獲得

アジア太平洋地域で毎年開催される産業分野の主要見本市である、アジア国際パワートランスミッション・自動制御、油空圧・エンジン・ガスタービン見本市 PTC ASIA（PTC アジア）、アジア国際圧縮空気・真空技術見本市 ComVAC ASIA（コンバック・アジア）、アジア国際マテリアルハンドリング・自動化技術・輸送システム・ロジスティクス見本市 CeMAT ASIA（セマット・アジア）、HEAVY MACHINERY ASIA（ヘビーマシーナリー・アジア）、Industrial Supply ASIA（インダストリアルサプライ・アジア）2014 が、2014年10月27日（月）から30日（木）まで中国・上海の上海新国際見本市会場（SNIEC）で同時開催され、大成功のうちに閉幕した。4日間にわたって、流体パワートランスミッション、圧縮空気と真空技術、イントラロジスティクスとサプライチェーン、重機、産業用部品、軽量構造などの展示が実施された。昨年引き続き、出展社、展示面積、サービスのあらゆる面で成功を収め、市場の信頼を獲得し、アジアと世界をリードする見本市としての地位を確固たるものにした。展示エリアの総面積は139,500平方メートルに及び、2,013の出展社が最先端の製品と技術を紹介し、80を超える国と地域から73,079名が来場した。

ドイツメッセ株式会社上級副社長 Wolfgang Pech（ウォルフガング・ペッチ）はこの成果に大いに満足し、「我々は業界の発展の目撃者であり、最新動向にも通じている。これら5つの見本市はあらゆる産業分野に向けて最適なソリューションとアプリケーション・システムを紹介するものだが、我々は市場の需要に焦点を合わせ、『スマートマニュファクチャリングとエネルギー効率』というテーマの浸透に注力している。言うまでもなく、出展社の多くは不況下にあっても、競争力を維持するために見本市への投資を継続している。これは非常に明るい兆しだ」と語った。さらに「全出展社が PTC ASIA、ComVac ASIA、CeMAT ASIA 等の同時開催見本市が市場をリードしていると認識して



おり、各社の CEO がブースで自社のブランディングやプロモーションを行っていた」と続けた。

20年の発展の歴史を持つ PTC ASIA には、今年、総面積 80,500 平方メートルの展示エリアに、新しいマーケット・リーダーや代理店を含む有名企業 1,208 社が出展した。

「スマートマニュファクチャリング、エネルギー効率、環境保護」のテーマのもと、中国、ドイツ、イタリア、トルコ、韓国、中国、台湾の企業が、スローガンに対応する先進的な機器や部品を紹介した。産業分野では、こうした動きに同調して製品製造過程における統合化と効率化を進める大手企業の数が増加している。

PTC ASIA のメカニカル・パワートランスミッション分野は引き続き規模を拡大し、今年にはシーメンス、ABB、BONFIGLIOLI、NORD、LENZE、エマソンなどの有名企業出展社に名を連ねた。また、流体動力分野の油圧、空圧、シーリングの領域では NOK、Argo Hytos、KASTASU、東京計器、Stauff、Chelic、CKD、CONVUM、Keda、Sunbun、Leemin、Youweili、Yuci Hydraulics などの有力企業数百社が出展した。

今年の PTC ASIA には日本からも、CDK 株式会社、廣瀬バルブ株式会社、株式会社日立産機システム、株式会社堀内機械、日本アキュムレータ株式会社、東京計器株式会社が出展した。

ComVac ASIA 2014 は展示エリアの面積が 20%超拡大し、13,500 平方メートルに広がった。スウェーデン、ドイツ、米国、カナダ、韓国、中国、台湾から 148 社が出展し、完全装置からメイン装置、後処理、スペアパーツ、潤滑油に至るまで、圧縮空気と真空技術に関する全サプライチェーンを紹介した。Ingersoll Rand、神戸製鋼所、日立製作所、バウアー、ボッシュ・レックスロス、Bumatec、Zhigao、Kaishan、フーシェン工業、Hanbell、Jaguar などの業界をリードする企業が出展の成果を実感し、多くの見込み顧客を獲得した。

アジア太平洋地域で毎年開催され、イントラロジスティクスとサプライチェーン産業のベンチマークとなっている CeMAT ASIA では今年、Heli、Jungheinrich、Crown、VITA-WHEEL、BYD、Goodsense、ダイフク、Swisslog、TGW、Beijing Materials



Handling Research Institute、Beijing Research Institute of Automation for Machinery Industry、China Shipbuilding Industry Corporation、NTI、Formosa、KENMEC、Siasunなどのロジスティクス分野の主要企業 490 社が、40,000 平方メートルの展示エリアに集結した。フォークリフト業界からは Jungheinrich、Heli、Crown、VITA-WHEEL、Goodsense、BYD、Ruyi などの大手企業がホール W1 に出展し、さまざまな旗艦製品を紹介した。

Swisslog (Shanghai) Co., Ltd のアジア太平洋マーケティングマネージャーの Vicki Chen 氏は CeMAT ASIA を評価し、次のように述べた。「Swisslog の E コマース向けイントラロジスティクス製品ライン『Click&Pick』はフレキシブルな技術を採用しており、その例としては、サイズの小さな商品や単品注文向けに小型の保管用コンテナとピッキング・システムを組み合わせたユニークな『AutoStore』や、自動搬送車を備えた移動ラック、ワークステーション、ソフトウェアで構成される『CarryPick』などがある。両技術とも CeMAT ASIA で多数の来場者の注目を集めた。CeMAT ASIA は新規や既存顧客に接触する非常に有益な場を提供し、我々の期待に応えた。我社の製品開発、設計、実現能力を紹介することができ、さらに、自動イントラロジスティクス・ソリューションを設計し、発表することができたので満足している」。

従来型ロジスティクスに関する展示のほか、今年の CeMAT ASIA は「ロジスティクス・ロボット」のテーマを取り上げ、専用の展示エリアを用意した。近年の人件費の高騰に伴い、中国の多数のメーカーが中国製ロボットのブランドを構築し、「無人ロボット」のコンセプトを提案した。

PTC ASIA、ComVac ASIA、CeMAT ASIA と同時に開催された HEAVY MACHINERY ASIA 2014 では、4,000 平方メートルの展示エリアに 100 社が出展した。また、産業用アウトソーシング分野の需要の拡大に対応する Industrial Supply ASIA も上海新国際見本市会場で並行して開催され、産業チェーンに沿ったインタラクティブなプラットフォームを提供した。



PTC ASIA 2014 と同時開催の見本市会期中には、約 20 の専門フォーラムとワークショップが開催された。その中で最大のハイライトの一つとなったのが CeMAT ASIA Innovation Salon（セマット・アジア・イノベーション・サロン）である。

中国国内から招待された約 100 のバイヤー代表団が来場し、多数の商談を行い、発注の意思を示した。PTC ASIA には、石油／石油化学産業、工学機械、工作機械、テキスタイル、航空宇宙、車載、製剤、冷凍技術などの産業分野を網羅する、80 を超えるバイヤー・グループが訪れた。

主催者であるハノーバー・ミラノ・フェアーズ中国株式会社のゼネラルマネージャーの James Fu（ジェームズ・フー）は、今回の開催とさらに来年の開催にも自信を示し、「産業分野のグローバル企業は、巨大な可能性を持つ中国市場に注目している。我々は上海でこうした大規模な見本市を開催し、プロフェッショナルなサービスとコンセプトのもと、産業分野のお客様に新製品／技術発表とビジネスのための大きなプラットフォームを提供している」と述べた。

Supply ASIA、CeMAT ASIA、ComVAC ASIA、HEAVY MACHINERY ASIA、Industrial Supply ASIA 2014 はドイツメッセ株式会社とハノーバー・ミラノ・フェアーズ中国株式会社が主催し、中国の業界団体の支援を受けている。

次回は 2015 年 10 月 27 日（火）から 30 日（金）まで、上海で開催される。

当リリースの全文は、[こちら](#)からダウンロードできます。

当見本市に関する詳細はハノーバーフェアーズジャパン株式会社へお気軽にお問い合わせ下さい：

ハノーバーフェアーズジャパン株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-5-1 TobunshaBLDG1 階

Tel: (03) 5215-7121 Fax: (03) 5215-7122

<http://www.hannovermesse.co.jp/>